

☆久賀島ならではの見どころ☆

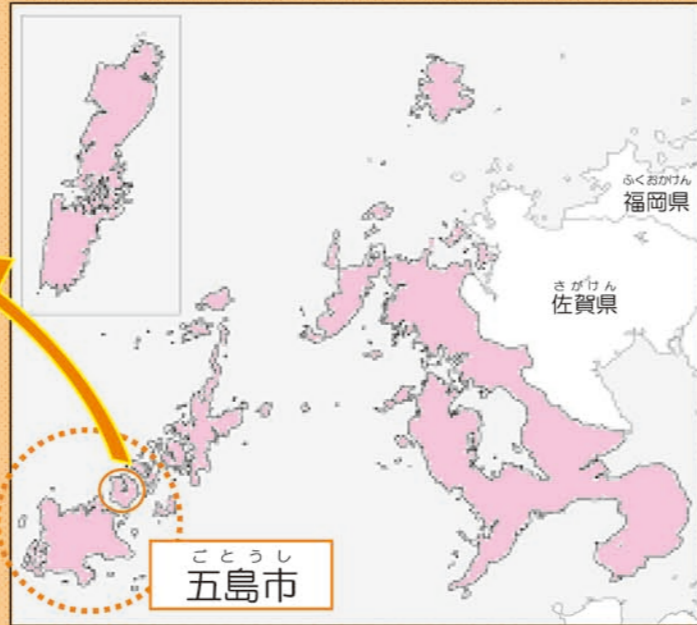


久賀島では、島の形に合わせて、地区ごとに漁業や農業など色々な暮らしの風景が広がっています。こうした風景の価値が認められ、平成23年、島全体が国の重要文化的景観となりました。

久賀島の地図



長崎県の地図



旧五輪教会堂が建っている「久賀島」はこちらです♪



旧五輪教会堂 重要文化財



旧五輪教会堂は、1881年(明治14年)に、五島市の久賀島の最初の教会として建てられました。現在は国の重要文化財として、一般に公開されています。



教会の前に広がる海が、とても青く透き通っています!



教会内の窓を開けると海が見えて潮の香りがしています!



会いにきてね♪ これからの世界遺産に!

世界遺産ニュース No.15

平成25年11月



長崎の教会群を世界遺産へ 発行 長崎県教育委員会

世界遺産登録を目指す、県内の構成資産をこれから紹介していきます! 第4回 「旧五輪教会堂」



案内担当の美龍です♪

③ 教会堂と地域の今

現在、旧五輪教会堂は、五島市の管理のもと、地域の方が空気入れ替えとお掃除などをされています。ボランティアの草刈りなども行われています。



お花も育ててありました!

130年以上建ち続ける大切な教会堂を守るために

- ①木造の教会堂は海に近く、傷みやすい環境にあること。
 - ②文化財として今の状態を変えないように修復するには、時間と費用がかかること。
 - ③人口減少や高齢化などの問題が出てきていること。
- このような課題があります。

これは、どの教会にも当てはまる課題です。大切な教会を遺産として守っていくために、何ができるか、みなさんも考えてみてくださいね。



☆「世界遺産ニュース」について☆ バックナンバーは、長崎県教育委員会の学芸文化課のホームページをご覧ください!!

② 苦難を乗り越えて...

「五輪教会堂」として50年経った頃、傷みが進んでしまった教会堂に替わる、新しい教会堂を建てることになりました。

! 今度こそ取り壊し?! またピンチに!

その時! 地域の人々が五輪教会堂を歴史ある建造物として残したいと立ち上がります。

願いが届き、教会堂は文化財としてそのままの状態で見守られることが決まりました。

この時、最初から100年が経っていました!!

2度のピンチを乗り越えた上で130年という長い歴史は、他にはない特別なものです。文化財となった今は、名前が「旧五輪教会堂」に変わりました。

下の写真もみてね♪



現在も、新しい五輪教会とともに、静かな海辺に建っています。

① 五輪教会堂の誕生

旧五輪教会堂は、長崎市の大浦天主堂に続き、県内で2番目に歴史が古い木造の教会です。

でも、その歴史には2度のピンチがあったのです!

もともと教会堂は久賀島の浜脇地区の教会でした。

! 取り壊し?! のピンチに!!

ところが、教会堂は丁ねいに解体され...

なんと! 海から、いかだなどで五輪地区に運ばれました。

そして、ふたたび組み立てられ、五輪地区の人々の念願であった「五輪教会堂」として温かく迎えられました。

教会堂は、海を越えてゆずり受けられたんだね、良かった!!

旧五輪教会堂について 紹介します♪



教会の内部は、リブ・ヴォールト天井が使われ、柱やアーチにも工夫がしてあり、西洋的なデザインになっていることに驚きます。



教会の屋根には瓦が使われ、壁は板張りなど、日本の古民家のような印象を受けます。

西洋と日本のそれぞれの持ちようがあって、面白いね!!